



### 税金って何？社会の仕組みを知ろう

北那覇法人会主催 子ども税金教室

11月9日、北那覇法人会の主催で、町内の全小学校6年生を対象に「子ども税金教室」が開催されました。

北那覇税務署の幸地さんを講師として迎え税金とは何か、税金がどういったことに使われているかをわかりやすく説明しました。講義後は1億円のレプリカ(約10キロ)を実際に持ってみたり、バスに乗り実際に税金で作られた町内の公共施設を見学しました。

### 島ぐらし・職場を体験

移住体験モニターツアー開催

町内での移住体験モニターツアーが11月10日から3日間開催され、県外から3組6人が参加しました。同ツアーは沖縄県が行っている移住促進事業の一環で、本町では医療・福祉の分野での人材が不足し求人も出ていることから、今回対象を絞っての実施となりました。参加者は民泊や公立久米島病院などでのインターンシップをとおり、久米島への理解を深めました。

東京都から家族で参加した橋本綾子さんは「のびのびと子育てができそう。病院のスタッフは親切で温かい方が多い印象」と感想を話しました。



### 伝統芸能の保存と継承のために

平成28年度全国自治宝くじ助成事業の実施

(財)自治総合センターでは、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として、地域住民の行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展と住民福祉の向上を図るとともに、宝くじの社会貢献広報に資するため、「コミュニティ助成事業」を実施しています。

久米島町では今年度、この事業を活用して字真謝の伝統芸能であるエイサーの保存・継承と地域行事の活性化を目的にエイサー太鼓一式の整備を行いました。

字真謝では本事業で整備されたエイサー太鼓一式を活用して、旧盆の中日に恒例のエイサー行事を行い多くの区民で賑わいました。

### 癒しをテーマに子育てを学ぶ

いいお産の日開催

11月3日、旧久米島中学校体育館にて「第3回久米島いいお産の日」のイベントが開催されました。午前だけのイベントだったにも関わらず、来場した大人・子どもとボランティアで総勢200名近い人でにぎわいました。

このイベントは、久米島で子育て中の親を中心としたボランティア団体「子育てを考える会 くめじまーま」が主催しているもので今年3回目となります。

今年は癒しをテーマにしており、島内のサロン4か所、カラーセラピスト、馬牧場の協力を得られ、ふくぎのくるのペープサートや最後には本格的な癒しのミニコンサートもありました。来場された親からは、「なかなかマッサージを受けに行く機会がないので嬉しい」との声がかけられました。また子連れでサロンとして参加された方は「子ども連れで出店できたこともとてもよかった」と話してくれました。



### 久米島高等学校の更なる躍進を

久米島高等学校70周年記念式典

11月12日に、久米島高等学校にて久米島高等学校創立70周年記念式典が開催されました。久米島高等学校は、昭和21年に糸満高等学校の分校として設立認可、同年の11月7日に現在地の嘉手苺に校地が選定され、この日を久米島高等学校創立記念日と設定されています。さらに昭和23年に糸満高等学校から久米島分校独立認可を受け久米島高等学校として独立しました。今年度は、創立70年を迎え式典で前川守克校長は「この70周年に節目に、21世紀の郷土久米島を担い、更に広く社会貢献できる人材の育成を目指し、学校上げて更なる取り組みを行う所存である」と話しました。

また、式典後には祝賀会も開催され卒業生、学校関係者が多く参加し、かぎやで風や高校生による組踊、島ぐるによる民謡などが行われ、会場を大いに盛り上げました。

### 特産品のいもについて親しみを深める

いもの日イベント開催

11月16日は「いいいも」の語呂合わせで「いもの日」となっており、いもにちなんだ関連行事が具志川改善センターで開催されました。県内外から関係者41人と地域住民が多数集まり、県産いもに親しみを深めました。

会場では、かんしょの品種である「備瀬」や「ちゅら恋紅」「沖夢紫」など5種類の実物や、各拠点産地の取り組みがパネルで展示されました。また、試食コーナーも設けられ、いも天ぷらやいもようかんなどがふるまわれました。

第2部では、県病害虫防除技術センターの佐渡山安常班長による「久米島町のアリモドキゾウムシ根絶の取り組みについて」講演会があり、佐渡山班長は「2013年にアリモドキゾウムシの根絶宣言をしており、残りのイモゾウムシの根絶に成功すれば、沖縄県で唯一久米島が県外出荷が可能になる、二度と久米島へ再侵入しないよう、地域住民も一緒に取り組んでいかなければならない」と話しました。



### 家畜の改良促進および飼養管理技術の向上を目指して

沖縄県畜産共進会開催

11月4日に南部家畜市場(糸満市)にて行われた、第42回沖縄県畜産共進会において、久米島町からは3頭の雌牛が出品されました。

沖縄県畜産共進会は家畜の改良促進および飼養管理技術の向上、畜産農家の経営安定ならびに県内の畜産振興に寄与することを目的に毎年11月に開催されています。出品された3頭のうち2頭が優秀賞に選ばれ、本町の高い飼養技術をPRすることができました。



出品牛及び成績は下記のとおり

部門	名号	出品者	成績
〔若雌1類〕	ゆりなみ号	知念幸真(上阿嘉)	
〔成雌1類〕	はなゆり号	知念直喜(上阿嘉)	優秀賞3席(10頭中3位)
〔成雌2類〕	ななみ号	知念幸真(上阿嘉)	優秀賞2席(10頭中2位)

※写真は「ななみ号」

### 読書の秋、本の楽しさを知ろう

子ども読書まつり

11月6日に、読書の秋の恒例行事「子ども読書まつり」が開催されました。沖縄県子どもの本研究会の皆さんによる読み聞かせ、パネルシアター等の実演を鑑賞しながら参加者は楽しい時間を過ごしました。

また、会場では絵本をはじめ本の販売も行われました。「読書まつり」を通し、たくさん子ども達や町民の皆さんが読書に親しむ、楽しむ機会となりました。

